

金属事業

# 企業年金にゆうす

2024 - No. 15

もくじ

|   |   |
|---|---|
| 第22回代議員会理事長挨拶（要旨）……………                    | 2 |
| 代議員の交替について……………                           | 3 |
| 各運用機関における2024年度の市場見通し ……                  | 3 |
| 2023年度決算等の概要……………                         | 4 |
| 確定拠出年金（DC）プラン加入者の<br>2023年度運用利回りについて…………… | 6 |



Morocco photo by. Tetsuo Ota (Best Inc.)

去る7月24日、東京金属事業健保会館で第22回代議員会が開催されました。  
当日は、代議員交替に関する人事案件報告の後、2023年度の事業報告および決算、決算結果を踏まえた財政検証などについて審議が行われました。

また、2024年度第1四半期の資産運用状況や直近足元の収益率についての報告が行われ、これを踏まえた国内金利の上昇リスクに対応するための債券運用にかかる改善策に関する議題の審議が行われましたが、これについては対応を見送ることとされました。

本号では、第22回代議員会において承認のあった2023年度決算等の概要を中心にお知らせいたします。

## 第22回代議員会 理事長挨拶（要旨）

皆様にはご多用のところご出席いただきましてありがとうございます。

また、平素は、当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っており、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

暦の上では大暑に入り、文字通り一年で最も暑さが厳しく感じられる時期となりました。今年は梅雨明け前から各地で気温が40度を超すなど、例年にも増して異常な夏場となっております。まさにこれからが暑さの本番となりますので、皆様にはくれぐれも体調管理にご留意いただきたいと思います。

さて、本日は、2023年度決算結果とその関連議案を中心にご審議いただくこととしております。2023年度の資産運用に関しましては、すでに2月の代議員会でご報告させていただいたとおり、2023年度は、厚生年金基金から受給権を引き継いだ方々の給付に充てるため7年で設定した特別掛金の最終償却年度に当たることから、市場リスクの顕在化によって給付原資に毀損が生じることのないよう、先に代議員会で定めたルールに則り、資産のキャッシュ化を行ったところです。

結果的に、その後の内外株式上昇に伴う収益は享受できませんでしたが、資産全体では予定利率の2%を大きく上回る8%台の収益率を確保するとともに、決算上の剰余を積み上げることができたところでございます。

2024年度に入り、内外株式は引き続き堅調に推移しておりますが、他方、国内金利は日銀の金融政策変更を受け上昇しており、これに伴い国内債券の収益が悪化しております。また、ヘッジコストの高止まりからヘッジ外債も苦戦が続いております。

欧州では、6月のECB理事会で4年9か月ぶりに利下げを決定しており、最大の注目は米国の利下げ時期となりますが、新聞報道等では9月にも利下げが行われる公算が大とのことで、この先、米欧の利下げが進めばヘッジコストも縮小し、ヘッジ外債の収益は回復するものと見込んでおります。

本日は、こうした足元の金融環境を踏まえ、特に歴史的な円安などを背景に国内金利に更なる上昇圧力がかかり、収益の一層の悪化が懸念される国内債券の運用に関し、リスク管理の観点から工夫を加えることの提案をさせていただくこととしております。皆様からの率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

最後になりますが、本日の会議が、建設的な議論の下、有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

## 代議員の交替について

去る3月16日に急逝された選定代議員 久木野 正一氏の後任について、金属事業企業年金基金選定代議員選出規程に基づいて選定を行った結果、森本 泰也氏（東京金属事業健康保険組合常務理事）が就任されました。森本 泰也氏の任期は、前任者の残存期間である2026年4月20日までです。

金属事業企業年金基金の第3期代議員の方々（敬称略）  
（任期：2023年4月21日～2026年4月20日）

| 選定代議員 |       |              | 互選代議員 |       |               |
|-------|-------|--------------|-------|-------|---------------|
| 役職    | 氏名    | 所属事業所        | 役職    | 氏名    | 所属事業所         |
| 理事長   | 石川 隆一 | 石徳螺子株式会社     | 理事    | 太田 哲郎 | 株式会社ベスト       |
| 副理事長  | 西 正信  | 株式会社やまびこ     | 理事    | 鈴木 保之 | 卫トー株式会社       |
| 理事    | 酒井 豊  | 金属事業企業年金基金   | 理事    | 森辻 英樹 | アトムリビンテック株式会社 |
| 監事    | 小林 秀之 | 秀邦金属株式会社     | 監事    | 竹内 則康 | 株式会社竹内工業所     |
| 代議員   | 千代田 透 | 株式会社東邦製作所    | 代議員   | 末永 正明 | 水戸工業株式会社      |
| 代議員   | 森本 泰也 | 東京金属事業健康保険組合 | 代議員   | 庭山 理  | 櫻金属工業株式会社     |
| 代議員   | 藤野 宗孝 | 藤野金属株式会社     | 代議員   | 中出 博  | 株式会社中出製作所     |
| 代議員   | 安部 隆行 | 第一合同商事株式会社   | 代議員   | 西川 亨  | 株式会社西川商店      |

## 各運用機関における2024年度の市場見通し

2024年  
7月時点

2024年度第1四半期における当基金の資産運用については、資産運用状況「Quarterly Report(2024.4-6)」でご案内のとおり、米利下げ期待の高まりを背景とした内外株式の上昇等から資産全体では3.08%となりました。7月には、米国による対中規制強化への懸念や急速な円高進行などを受け内外株式が大きく調整する局面もありました。この先の米欧中央銀行や日銀の金融政策の動向や、秋の米大統領選挙結果は、今後の経済や市場環境に大きな影響を及ぼすものと見込まれますが、当基金の各運用機関における本年7月時点での2024年度市場見通し(予測値)を以下にご案内いたします。

|      |            | 実績       |          | 予想値 2025年3月末 |          |          |          |
|------|------------|----------|----------|--------------|----------|----------|----------|
|      |            | 2024年3月末 | 2024年6月末 | 三井住友信託       | 日本生命     | 第一生命     | りそな      |
| 国内債券 | 国内10年国債利回り | 0.73%    | 1.05%    | 1.20%        | 1.20%    | 1.40%    | 1.30%    |
| 国内株式 | 日経平均       | 40,369円  | 39,583円  | 42,000円      | 42,700円  | 41,000円  | 42,600円  |
| 外国債券 | 米国10年国債利回り | 4.20%    | 4.40%    | 4.00%        | 4.00%    | 4.20%    | 4.10%    |
| 外国株式 | NYダウ       | 39,807ドル | 39,119ドル | 40,500ドル     | 40,000ドル | 40,000ドル | 43,600ドル |
| 為替   | 米ドル        | 151円     | 161円     | 155円         | 148円     | 155円     | 150円     |
|      | ユーロ        | 163円     | 172円     | 164円         | 163円     | 171円     | 166円     |

なお、上記運用機関の見通しは、今後の投資環境等によって変更される可能性があり、また、いずれの数値も将来の収益率を保証するものではありません。

## 2023年度決算等の概要

去る7月24日に開催された第22回代議員会において、2023年度事業報告および決算が全会一致で承認されました。また、決算では、年金資産の積立状況を確認するための財政検証を実施しました。以下では、2023年度決算等の概要をお知らせいたします。

なお、2023年度事業報告および決算の詳細については、別添の「2023年度業務概況報告書」(REVIEW OF OPERATIONS IN FISCAL 2023)をご参照ください。

### 年金経理

年金経理は、掛金収入や資産の運用による運用収益、年金・一時金の給付費などを管理する会計です。

費用勘定は、年金・一時金の給付費398百万円、短期脱退者にかかる企業年金連合会への移換金6百万円、運用報酬・業務委託費29百万円のほか、年金数理上の債務の増加を認識するものとして責任準備金増加額722百万円を計上しておりますが、これはキャッシュアウトを伴わない費用科目です。

一方、収益勘定は、標準掛金233百万円と特別掛金803百万円による掛金収入1,036百万円、これに8.44%<sup>(注)</sup>の運用利回りに相当する運用収益410百万円を合わせ収益合計は1,446百万円となりました。

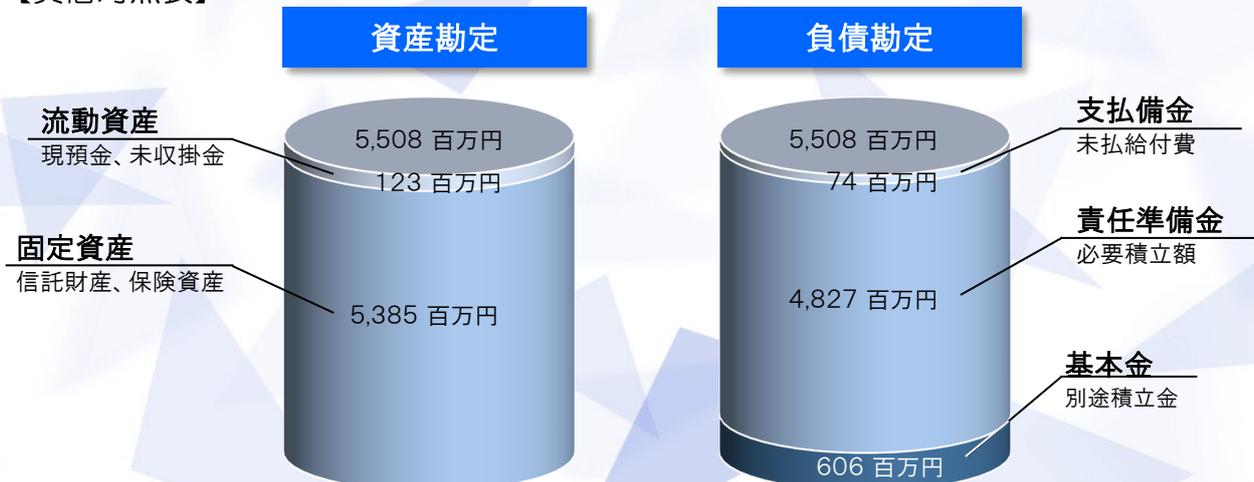
この結果、2023年度は291百万円の当年度剰余金を計上し、2023年度決算においては、当該剰余金を別途積立金へ積み増すこととし、これにより、別途積立金は606百万円に増加することとなりました。なお、2023年度末の年金資産(純資産額)は、5,433百万円となっております。

(注)運用利回りは修正総合利回り。決算上の時価ベース利回りは8.31%です。

### 【損益計算書】



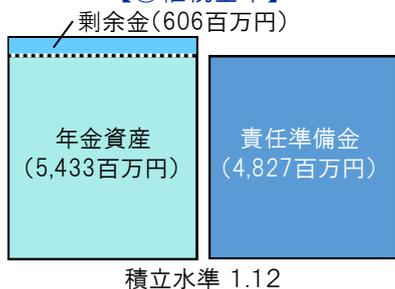
### 【貸借対照表】



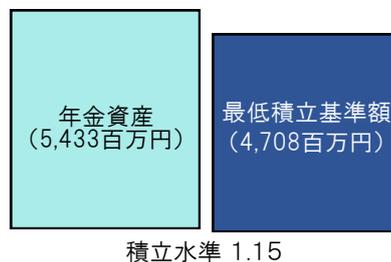
## 財政検証

基金の毎年の決算では、財政検証によって年金資産（純資産額）の積立状況を確認します。積立状況のチェックは、①制度が今後とも継続する前提で、現時点の積立状況に問題ないかどうかを検証する「継続基準」と、②制度が終了する前提で、現時点でこれまでの加入期間に見合った給付を賄う資産が確保されているかどうかを検証する「非継続基準」の2つの基準により行い、いずれも積立水準1.0以上がクリアの要件となります。検証の結果は以下のとおり、継続基準、非継続基準ともに基準をクリアしています。

### 【①継続基準】



### 【②非継続基準】



## 業務経理

業務経理は、基金の事業運営に要する事務費、代議員会に係る経費などを管理する会計です。

費用勘定は、人件費を含む事務費4,716万円のほか、代議員会費30万円、公認会計士によるAUP実施費用44万円、掛金収納代行手数料などの雑支出74万円を合わせて費用合計は4,864万円となりました。

一方、収益勘定は、事務費掛金収入が4,724万円となりました。

この結果、2023年度においては、140万円の当年度不足金を計上することとなりましたが、当該不足金については繰越剰余金7,195万円の一部をこれに充てることとしました。

### 【損益計算書】



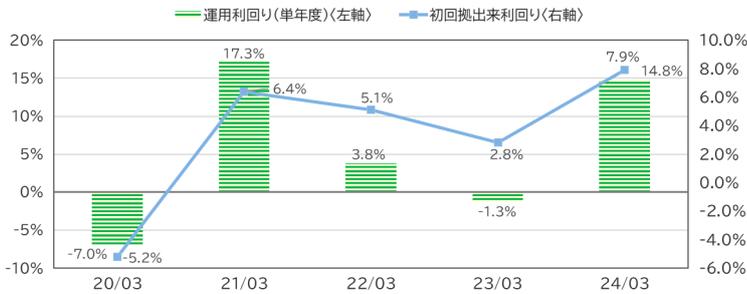
### 【貸借対照表】



# 確定拠出年金(DC)プラン加入者の2023年度運用利回りについて

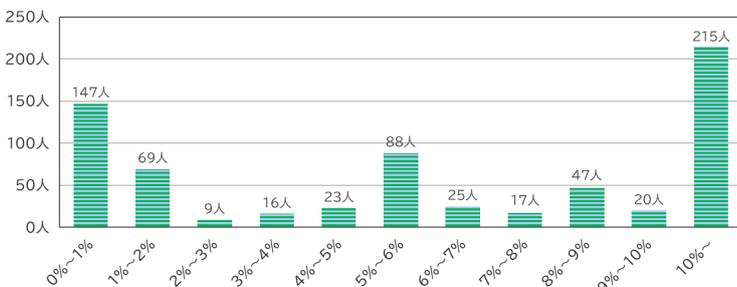
当基金の確定拠出年金(DC)プラン加入者の2023年度運用利回りは、別添の業務概況報告書(REVIEW OF OPERATIONS IN FISCAL 2023)でご案内のとおり、内外株式の大幅な上昇等を背景に加入者全員がプラス実績を獲得しており、特に10%以上の高い運用利回りを獲得している加入者が多数いらっしゃいます。しかしながら、その一方で運用利回りが0%近辺の加入者も相応に存在しており、これらの方々の多くは、投資対象を定期預金などの元本確保型商品のみとしているものと思われます。

## 利回りの推移 (単年度・初回拠出先)



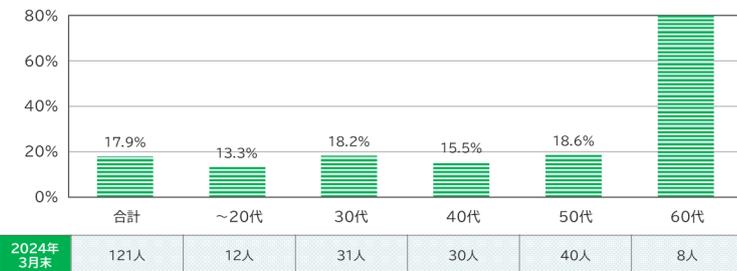
全加入者がプラス実績を獲得し単年度/初回拠出先の何れも前年度実績を上回りプラスを維持しております。

## 運用利回りの人数分布 (2024年3月末)



2023年度運用利回りを人数分布で見ると、10%以上の高い運用利回りを獲得している加入者が215人(全体の32%)いる一方で、0%~1%の加入者も147人(全体の22%)と相応の人数に上っています。

## 元本確保型のみ保有者割合



運用利回りが0%近辺に偏っているのは、投資対象を定期預金などの元本確保型のみとしていることによるものと考えられ、現に上記147人中121人が元本確保型のみ保有者です。

## POINT!

元本確保型商品のみによる運用は低金利環境の中ではリターンを期待しにくく、目標積立とは大きく乖離した運用結果となる可能性もあるためご自身の年齢等を基にきちんとした運用目標を定め、それに見合うリターンが期待できる運用商品を選択していくことが重要です。

## 企業年金基金概況

2024年7月末現在

| 実施事業所数 | 加入者数   | 受給者数 | 年金資産額    |
|--------|--------|------|----------|
| 110社   | 4,362名 | 582名 | 5,526百万円 |

発行 金属事業企業年金基金

〒101-8571 東京都千代田区岩本町1-11-11 東京金属事業健保会館1階 ☎03-5829-4950

URL <http://www.kinzoku-pf.or.jp/>